

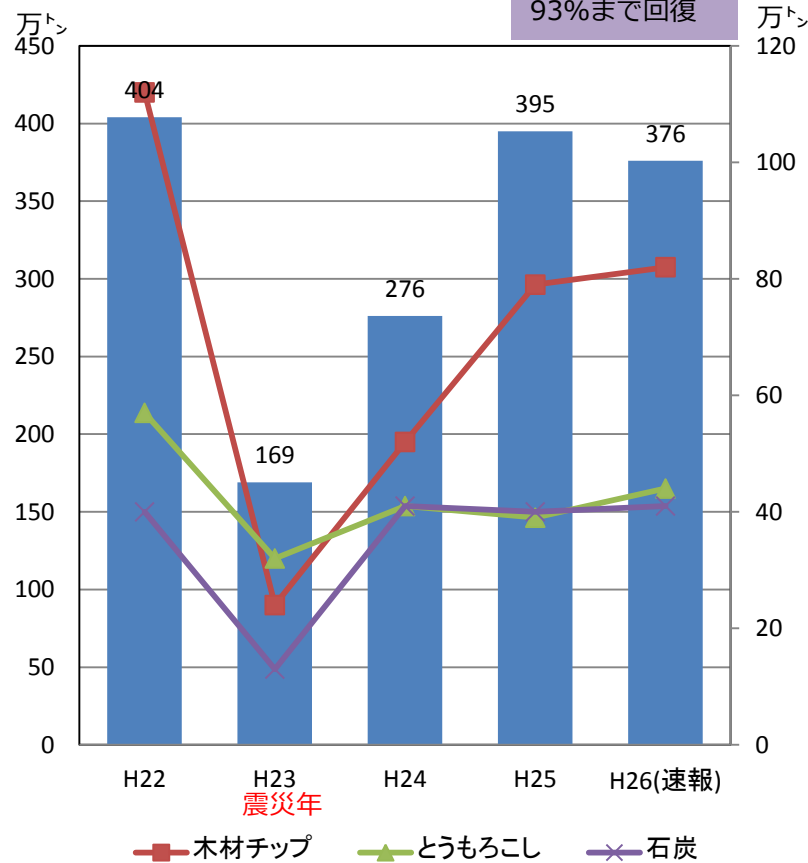
仙台塩釜港(石巻港区)における取扱貨物量の推移

○H26年の取扱貨物量は376万ト、であり、震災前のH22年と比較し93%と震災前の水準に概ね回復。

○要因は、製紙原料の木材チップと火力発電用燃料の石炭が順調に回復中。

総取扱貨物量

品目別取扱貨物量



【出典：宮城の港湾統計】

石巻港における主要荷主のコメント ＜日本製紙(株)石巻工場＞

【取り扱い貨物の回復要因】

東日本大震災から約4年経過し、港湾施設として岸壁やふ頭用地等が復旧され、当社が製造する製紙の原料である木材チップ及び燃料である石炭の取扱量も回復傾向にある。

今後は、従来事業に加え、平成30年3月稼働開始予定のバイオマス発電も含め、石巻地域の復興にも寄与できるよう目指していきたい。

【港湾に対する要望】

荷役作業等においては、安全・安心、ならびに使いやすい港として、港内の静穏度を早急に図ってほしい。